

歴史委員会 07 月度定例会 議事録

日時：2022 年 07 月 15 日（水）18：00～ZOOM によるオンライン会議

出席者：浅川（ZOOM ホスト）、犬塚、須長、蒲田、伊藤、中澤

◆議題（各委員のテーマでの発表）

犬塚：「江戸期の各地域における下級武士の生活」の内続「知覧の庭」：詳細は参照 P2-P4。

蒲田：「江戸旗本屋敷のゾーニングを中心としたエクステリア調査」

今月の調査分（事例-12）高井蔵太 屋敷

（東京都公文書館所蔵、至文堂 城郭・侍屋敷古図集集成 江戸城 II 侍屋敷）

- ・屋敷所在地：芥坂下厩谷通り 127（現在の東京都新宿区市ヶ谷界隈）
- ・敷地面積：604.17 坪（敷地間口：19.18 間、敷地奥行：31.50 間）
- ・主家面積：107.00 坪、普請時期：不明、家禄高：不明

〈この屋敷の特徴〉

- ①方位が入っている ②離れ（隠居部屋）がある ③築山らしい描写がある
- ④家臣の部屋が 6 家族分 ⑤方位に対する建築的配慮がない、方位の記載のない旗本屋敷と建築計画的に大きな差異は認められない。

浅川：「地方の武家屋敷から郊外住宅のエクステリアを考える」のうち、

- ・1980 年代以後の 23 分譲地（東北、関東、九州地区）の街並みエクステリアを紹介
- ・分類方法：分譲地名、開発年、事業者、地区、戸数、エクステリアの特徴を横一列エクステリア（街並み、門回り、塀・柵、駐車場）の特徴的写真 5 枚組にて
- * 道路側の植栽の量、質等など時代によって変化する街並みについて考えていく。

須長：戦後 住宅庭園・ガーデン・エクステリア書籍リスト作成（引き続き作業継続中）

伊藤：「エクステリア CAD の歴史」

- ・全体の構成案を示す。

中澤：「戦後のエクステリアの歴史」

1970 年代前後の経済雑誌から当時のエクステリア業界を外側の人々は、どのように見ていたのか

- 1970 年代前後の経済雑誌の計数的原資料と思われる、ヤノレポート（矢野経済研究所）の 6 つの記事を閲覧し、①当時のエクステリア商品動向、②市場規模、③主なメーカー名④主な流通会社名などのあらましを報告（歴史委員会メンバーに別途配信予定）。

◆次回 定例会予定は、8 月 20 日（水）以上

■ 続知覧の庭園

【西郷恵一郎邸】

- ・アプローチ：鍵の手形のアプローチ
- ・主庭：イヌマキの刈込、石組により高い峯を表現(母ヶ岳とは反対方向を向いた庭)
石組を鶴、サツキ刈込を亀に見立てた「鶴亀の庭」

【平山克己邸】

- ・アプローチ：鍵の手形のアプローチ。沖縄のヒンプン形の生垣
玄関脇に待合と思われる腰掛が配置
- ・主庭：母ヶ岳を借景にした庭園。イヌマキの刈込と母ヶ岳を関連付け。
サツキの刈込と景石を海に浮かぶ島々に見立てている。水面の広がり強調

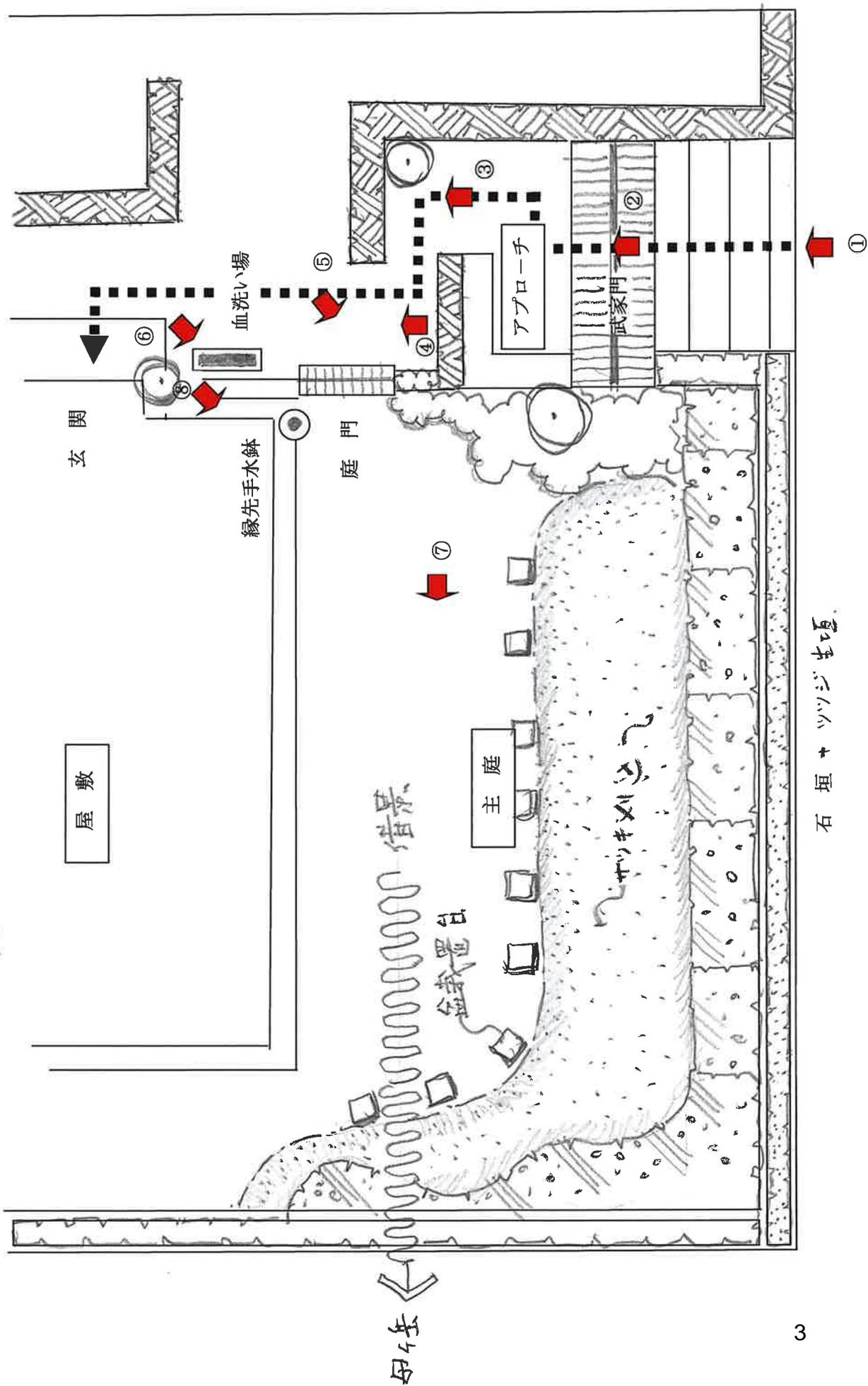
【平山亮一郎邸】

- ・アプローチ：鍵の手形のアプローチ。ヒンプン形の石垣と生垣のダブル
玄関脇に血洗いのためと云われている長い水鉢を配置
- ・主庭：母ヶ岳を借景にした庭園。
イヌマキを造形的に刈込み山並みに見せる
景石を使用せずサツキの大刈込を見せる
手前に盆栽を載せる台石を並べて景色とする



琉球との交易港(山川港)

□ 平山亮一邸平面図



石垣 サツジ 土垣

□ 平山亮一邸



写真① 武家門



写真② 門を入った鍵の手形のスペース



写真③ アプローチの生垣



写真④ アプローチの太刀洗



写真⑤ 庭門



写真⑥ 太刀洗



写真⑦ 主庭(イヌマキ・サツキの刈込)



写真⑧ 室内からの主庭の眺め